

## コケオニグモ

この歳になってとよく話の前につけるが、まさにそのとおりで初めて見た姿に度肝を抜かれた。

山葵沢へ水の状態を見に行く途中は川沿いを歩くので自然とのふれあいに絶好の場所となる。従って殆どがカメラを肩に掛けて道草をしながら行くのであるが、いかにしても大きな一眼レフでは近所様に白い目で見られそうなので、最近はコンパクトなデジカメを持つことが多い。そんなときに珍しい虫たちがやってくる。

ケヤキの葉の中に潜っている迷彩柄の生き物らしきやつが突然目の中に映ったのだ。顔を近づけると蜘蛛のようだが突飛な苔のような模様をしている。一眼レフならもっと遠くから狙えるのだが、思いながらシャッターを1枚、2枚と切りながら段々と獲物に近づく。獲物は身動きもしないが、どうも葉の中に残りの体があるようだ。もう少し近くでと思ったとき彼は突然に跳ねるように飛び起きて3m下の川原にジャンプしてしまった。見えていた部分の大きさは2cmくらいあったと思うが全体の大きさは定かでない。美しい蜘蛛だったので脳裏に焼きついている。



苔のような模様をしたクモで名前は「コケオニグモ」だそうである。

★ 2015年9月5日のニュースということでweb上に次のニュースが載っていた。

「福井県内では1970年の資料を最後に採集記録がない希少種のコケオニグモが、同県越前市山室町の林昌尚さん(57)の自宅周辺で見つかった。専門家は「北陸4県でも古い記録しか残っておらず、今回の発見は北陸全体として貴重だ」としている。コケオニグモは主に山地に生息する。」